

新型コロナウイルス感染防止

対策ガイドライン

令和4年4月1日

岩出市バドミントン協会

新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン

岩出市バドミントン協会

日本バドミントン協会が策定した『新型コロナウイルス感染症対策に伴うバドミントン活動ガイドライン』を参考に、岩出市バドミントン協会は、大会を開催するにあたって以下の感染防止対策を策定しました。

1 大会全般について

- (1) 大会主催者は協会会長を感染対策責任者とし感染対策部を設置する。
- (2) 参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応については、保健所等の関係機関と連携して対応する。
- (3) 大会本部は、大会関係者から感染者が発生した場合に備え、個人情報取り扱いに十分注意し、大会当日に大会関係者から提出された書面や大会申し込み用紙を1か月間保管し、速やかに確認、提出可能な状態にしておく。
- (4) 消毒等感染防止に必要な物品は大会主催者で準備する。
- (5) 新型コロナウイルス感染症を発症した場合、速やかに関係機関（所属チーム責任者、岩出市バドミントン協会事務局）に、濃厚接触者の有無等を含めて報告すること。

2 大会関係者（選手、大会役員）について

- (1) 全員に対して
 - ① 参加者は、大会日10日前までの各項目の有無等を確認し、別紙の『施設利用に係る健康チェックシート（個人用）』に記入して大会本部に提出する。
 - ② 『健康チェックシート』の項目に該当する場合、提出を拒否した場合は大会への参加を辞退すること。また、参加者が未成年の場合は、保護者の同意を必要とする。
 - ③ 大会本部は①シートを管理し、必要に応じて会場管理者等関係機関に提出する。
 - ④ 手洗い・消毒・うがいの励行、咳エチケット、マスク持参と試合時以外の着用を行う。（特に、試合後や準備後等不特定多数の人が触るような物に触れた後には手洗い・消毒を行う）

- ⑤ 外履きの靴は袋に入れ自分で管理し、下駄箱は使用しない。
- ⑥ 更衣室、トイレの使用については密を避けるように各自が心がけて利用する。
- ⑦ 観戦は、指定された場所や席で、横並びに座る、人との距離をとるなどの対策を行い席を移動しない。また、応援は声援を不可とし、拍手等で行う。
- ⑧ ゴミは全て持ち帰ること。特にマスクはビニール袋に入れて持ち帰り、自宅で処分すること。

(2) 選手に対して

- ① ウォーミングアップは距離をあけて行い、意図的に大声は出さない。
- ② コートサイドにはカゴやトレイ等を設置しないので、ドリンク等はバッグ等に入れて持参すること。
- ③ ラケット、タオル、シューズ等の貸借はしない。
- ④ 飛沫拡散防止のため試合、練習中は意図的に大声を出さない。

3 大会運営面について

(1) 競技会場について

- ① 出入口についてはドアを常時開放する。
- ② 換気は常時行うことを基本とし、遮光性に配慮の上、可能な限り窓や扉を開放して行い密閉状態を避ける。開放が出来ない場合は、定期的に十分な換気を行う。(換気のタイミングや換気時間等は事前に周知する)
- ③ 会場準備については、人数制限や役割分担を行う等、密にならないよう工夫して準備を行う。(協会役員の指示に従って行うこと)

(2) 大会本部について

- ① 大会本部の設置は、密を避けるように設置し、適切な運営スペースを確保する。
- ② 運営物品や共用物品は、定期的に消毒を行う。

(3) 受付、及び試合進行について

- ① 本部席にはアルコール等の手指消毒剤を準備する。また席は1席以上空ける。
- ② 人が対面する箇所には、遮蔽物(アクリル板やビニールシート等)を設置する。
- ③ 受付、進行业務にあたる場合で遮蔽物が設置できない場合は、プログラムや関係資料、審判用紙やシャトル等の物品は机の上に置いて受け渡しするようにし、直接受け渡ししない。
- ④ 開会式、閉会式は行わない。(賞状授与は行う)

(4) 競技中について

- ① 審判員はマスクを着用する。
- ② 選手同士や審判員との握手は行わない。
- ③ シャトルの交換は、選手がシャトルを直接取る。

バドミントン競技再開にあたって感染拡大防止のための消毒は『使用する物の消毒』と『自分自身の予防消毒』を意識して行うようにしてください。

以上